





#### SHEAR FOR PROFESSIONAL DEMOLITION & SCRAPPING

### イーグルシャアシリーズ EAGLE 3 / EAGLE 2

30年以上の長きにわたりMBIフラッグシップモデルとして君臨する 「イーグルシャア」。高い切断力と耐久性を備え、過酷なプラント設備 や鋼材の解体に対応する、プロフェッショナル向け油圧シャアです。

MBIの4つの設計思想「コンパクト」「パワフル」「エレガント」 「作業性」が見事に表現されており、日本の主力解体用フロント (ツーピース、ロングブーム) への取付に最適なスペックを実現。 4~350tonクラスショベル用に19モデルを揃えています。

スタンダードモデルの「EAGLE2」、ハイスペックモデルの 「EAGLE3」の2タイプを展開し、全19モデルをランナップ。世界 各国で解体現場のニーズに合わせて選ばれています。アーム先端 への取付が可能な取付ピンブラケットが日本標準仕様になります。









SECONDARY **DEMOLITION** 



**IRON STEEL** 



SPEED VALVE



SMART BOX MAINTENANCE

QUICK



INTERCHANGEABLE TEETH/BLADES



HYDRAULIC **ROTATION** 



MADE IN ITALY

## **EAGLE3 TOP SKILLS**



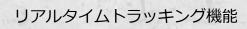
新設計の「一体型カッティングガイド」は、 開口部の作業エリアを拡大。大型タンク切 断の難しい作業角度に対応

新型のパワーアップしたシリ ンダー。数千時間の耐久性能 を誇る高品質シール使用



ジョーを覆う新形状の「先端チップ」は

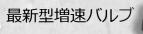
耐摩耗性の向上と、ジョーの摩耗補修 作業を低減





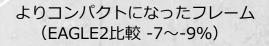


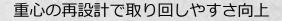
より広くなったジョー開口幅 (EAGLE2比較+8~9%)





切断力の向上 EAGLE2比較+18~+32%)









HARDOX® New Hardox® 500 フロントシールド

EAGLEはイタリア本社で設計製造されます

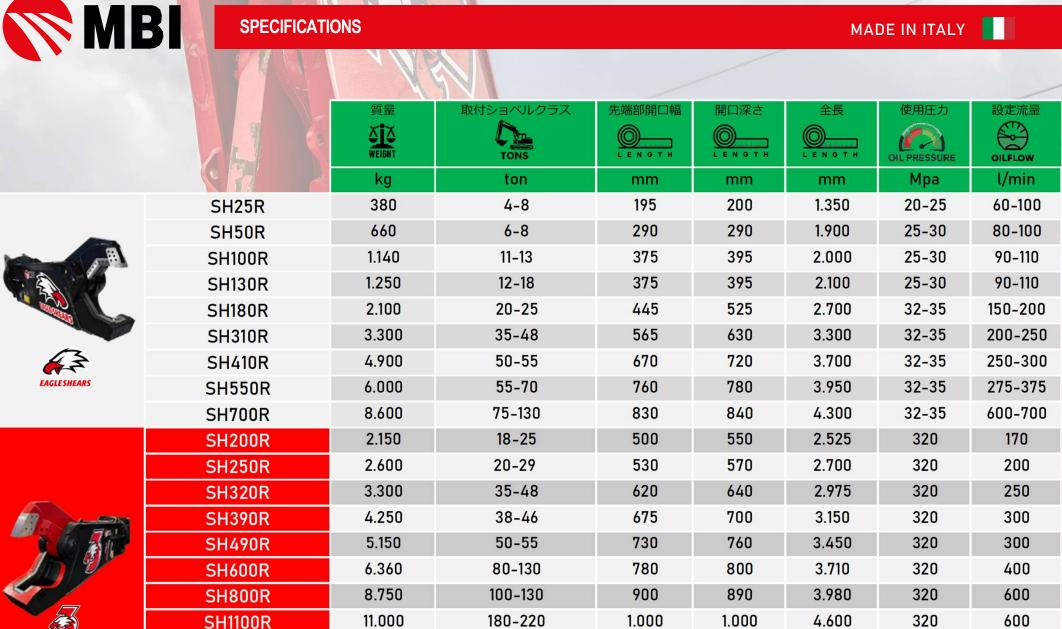




New Hardox® 500 アーマープレート







130-180

180-350

1.100

1.250

1.100

1.290

4.800

5.550

320

320

800

800

15000

22000

SH1500R

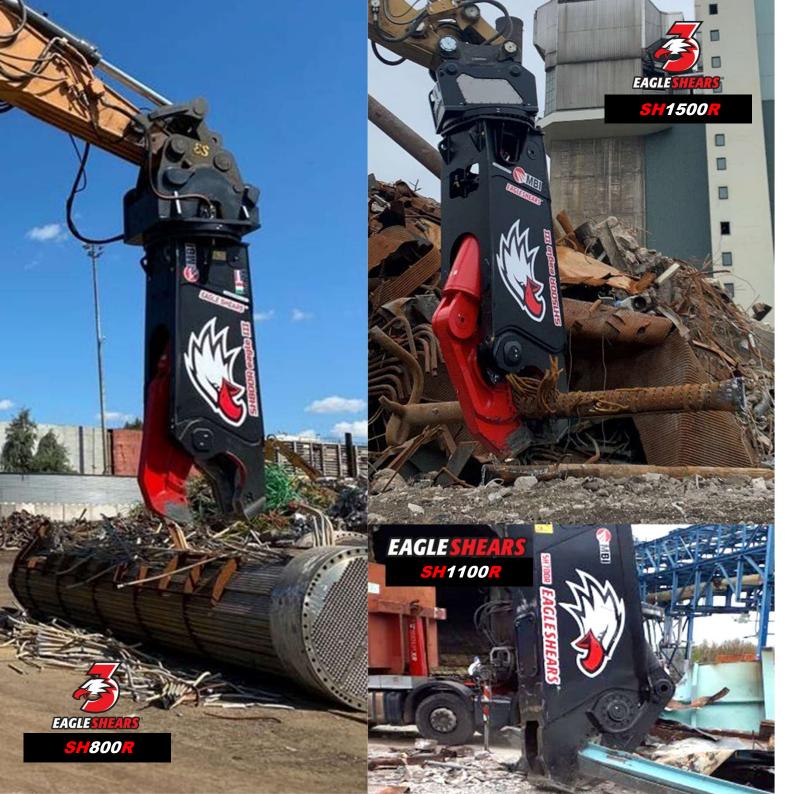
**SH2200R** 





#### タンク解体 (Tank Dismantling)

貯蔵タンク(大型の鋼製円筒タンク)の切断・解体は、高所・可燃性残留物・厚鋼板といったリスクを含むため、特殊な工程・機材・安全対策が必要です。EAGLE SHEARSはタンクのスムーズな 切断を実現しています。 EAGLEシリーズのネーミングと設計には、このくちばしのフック状形状と貫通力・切断力が意識されています。可動側ジョーの先端刃はその名の通りイーグルのくちばし です。ここに強大な切断力を集中させることにより、タンクの厚鋼板にパンチング(穴をあける)することができます。また、厚鋼板はジョーの幅で長方形に切り抜かれます。この切り取られた 穴に再びジョーを差し込んで切断することができるので、厚鋼板を連続的に切断することができます。写真は製糖用タンクで鋼板の板厚が10ミリから15ミリですが、動画をご覧いただければ EAGLESHEARの性能にはかなりの余裕があるのが分かり、より分厚い鋼板製のタンク切断を見たい衝動にかられてしまいます。





#### プラント解体 (Plant Dismantling)

EAGLEの設計には、猛禽のくちばしの湾曲形状と、 貫通力、切断力が意識されています。

EAGELのジョー(刃部)も湾曲形状で、 くちばし 状に尖った先端を持っており、対象物に突き刺すことができます。

「突き刺し  $\rightarrow$  裂断  $\rightarrow$  剪断の3段階動作」が、猛禽のくちばし動作に似ているのです。

「熱交換器」の解体では、ジョー先端部を使って 「刺し込み→裂断→剪断」の3段階動作でむしり取 るかのように解体しています。

「肉厚のある鋼管類」の切断には、もう一つの EAGLE SHEARの切断方法が適しています。 「鋼管を挟み込み→ジョーを閉じて刃の奥へ送り込み→高い切断力で剪断する」3段階動作」で解体できます。

また鋼管類を保持しやすいジョーの設計になっており、鋼管類が振り回される危険や、鋼管を地面に押し付ける必要もありません。

EAGLE SHEARはメインでの躯体解体作業だけでなく、相番でのスクラップ尺切作業にも適していますので、プラント解体現場の全体がスピーディーに進行します。





SH25 R (380kg)





for 4-8ton

スクラップヤード内にて。この頑丈 なトラックのラダーフレームを切断 した形跡を確認できます!注目は 「切り方」!SH25Rでパンチング (打ち抜き) 切断しています。「挟 み込み→奥へ送り込み→剪断」の3段 階動作で実現できる切断です。

SH50R (660kg)

for 6-8ton

室内の設備解体現場にて。Φ10ミ リから20ミリの柔らかい銅線の束 を切断しています。注目はSH50R が人手を使わずに拾い切りできる こと。「挟み込み→奥へ送り込み →剪断」の3段階動作が銅線でも 実現できるのです。拾い切りの作 業効率がどのくらい向上するで しょう。

**SH100**F (1140kg)

for 13ton

鉄道駅のホームの解体現場にて。 屋根構造物を解体しています。 チャンネル、H形鋼200ミリ程度 をゆとりをもって切断した様子。 注目はSH100Rのつかみ機能。 イーグルのくちばしが獲物を咥え て飛んでいる様なイメージですね。 これほどしっかりつかめる解体機 は他にありますか。

**SH130** (1250kg)





for 13-18ton

14トンクラスの油圧ショベルにク イックカプラを介してSH130Rを取 り付けています。全長は国内の同ク ラスの鉄骨カッターと同サイズの 2100ミリ。注目はタンクを一直線に グングン切断できることですね。 切って、切って、めくっていく必要 はありません。めくりづらい厚鋼板 も安心ですね。







EAGLE2 [SH180R]

質量 2100kg

全長 2700mm

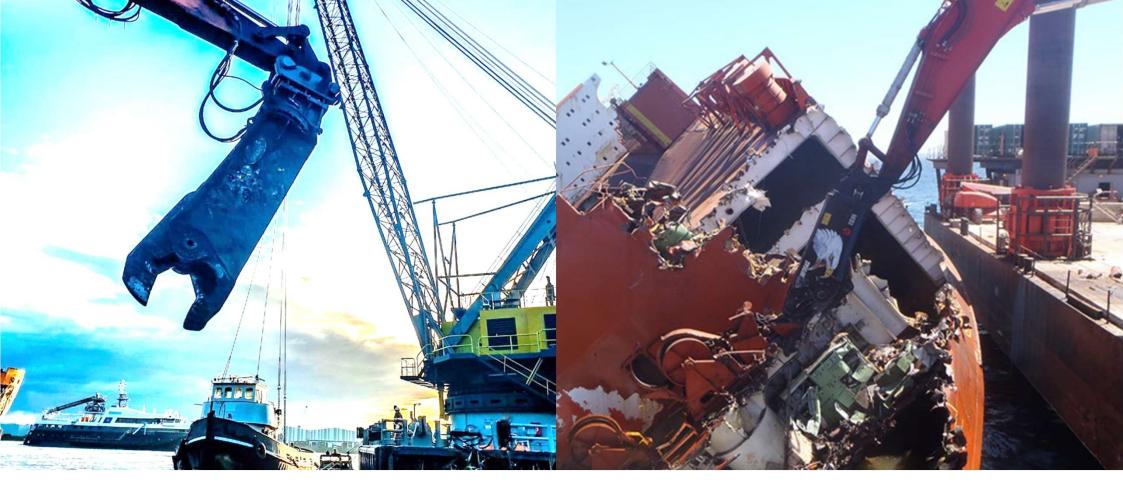
開口幅 445mm

開口深さ 525mm

ロングブームにも取付されることも多い軽量な EAGLE2「SH180R」

注目はかなり繊細な作業に対応していることです。 3つの動画ではいずれもジョー先端部を器用に 使っています。引っかけ、突き刺し、くわえ込み、。 多様で見事な解体方法をご覧ください。





#### 船舶解体 (Ship Breaking)

船舶には鉄が大量に使用され、中大型船はその9割以上が再資源化されていますが、安全で環境負荷が低くかつ効率的な手法による解体が求められています。 大型船舶は一般的な建物に比べると非常に頑丈であり、過酷な条件下での作業であるため、「剪断力と信頼性が極めて高い専用機」としてEAGLEが選ばれています。

外板や甲板の厚みがあり20ミリを優に超えますので。のスクラップシャアもSH800R以上の大型機種が使われます。

この写真で注目することは、油圧ショベルのアーム先端にEAGLE SHEARが取り付いていることです。おかげで油圧ショベルの作業半径が広く取れています。 船舶解体で必要とする高い切断性能をコンパクトに設計したのがEAGLEシリーズなのです。





130トンクラスセパレートに取付できる大型機種、MBI EAGLE3「SH800R」。 注目は想像を超えた「切断力」。

開口部に入ったスクラップは形状を問わずに切断するのではと思えてしまう。 写真中央の鋼材はかなり切りづらいはずですが、あっさり切りました。 この動画ではPC490のブーム取付のため、ジョー開閉スピード、 取り回しにはスピード感がありません。130トンクラスに取り付けた場合の スピード感と取り回しのしなやかを、ぜひとも日本で見てみたいですね。 解体現場でこの切断性能があれば、もう無敵ですね!





EAGLE3 [SH800R]

質量 8750kg

全長 3710mm

開口幅 900mm

開口深さ 890mm









VOLVO EC950FL (95ton) に 取付けたMBI EAGLE3「SH1100R」 注目はアタッチメントの動きのしなやかさ。 走行体は横向きでも、この取り回し、 この旋回のスムーズさ、このジョーの開閉! これこそ求めていた性能ですね。 MBIのEAGLEシリーズにしかできない動きを しっかりとご覧ください

EAGLE3 「SH1100R」

質量 11000kg

全長 4600mm

開口幅 1000mm

開口深さ 1000mm









大型クラスの EAGLE3「SH1500R」 注目は「貫通力」です 厚鋼板のサイズは何と驚きの厚さ38ミリ! このパワーを経験したことがある オペレーターは日本にはいないでしょう。 このパワーがあれば他には何もいらない

EAGLE3 [SH1500R]

質量 15000kg

全長 4800mm

開口幅 1100mm

開口深さ 1100mm





社名 マントヴァーニヴェンネ (Mantovanibenne S.r.l.)

CEO パオロ・マントヴァーニ (Paolo Mantovani)

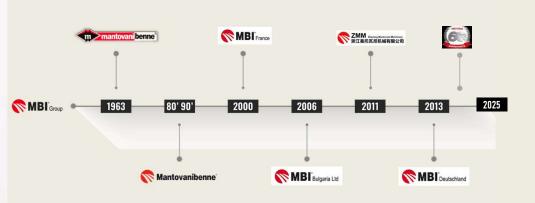
本社 ia Augusto Righi, 21 – 41037 Mirandola (MO), Italy

創業 1963年

事業 建設機械用アタッチメント製造

社員 200名超

拠点
フランス、ブルガリア、中国、ドイツ



14歳で父を亡くし職人になったアンドレアはアルプスの空のような澄んだ志の持ち主でした。マントヴァーニヴェンネ社は、1963年に農工具職人アンドレア・マントヴァーニによって、北イタリア・ミランドラにて、バケットメーカーとして創業しました。フェラーリを始め革新的メーカーが集う、高品質なものづくりで名高い街です。精密で高品質なバケットは油圧ショベルメーカーに採用されて瞬く間に欧州中で評判を呼びました。1970年代にはマントヴァーニの名はヨーロッパにおけるバケットの代名詞となっていました。

1980-1990年代には、2代目のパオロ・マントヴァーニによって、ヨーロッパ初の解体・リサイクル用に特化した油圧アタッチメントを開発し、ラインナップしました。革新的で高品質な製品は海外でも評判を呼び、2000-2010年代には欧州からアジア・アメリカへも事業を拡大し、グローバルブランドへ成長を遂げました。

2020年代には3代目のロレンツォとヤコポが経営に参加。大資本を受け入れた他メーカーと一線を画し、鋼の絆と称されるマントヴァー二家3世代により60年以上にわたる家族経営を貫いています。その長期的視点とユーザーと共に歩む姿勢は、親しみやすさと信頼感を感じさせるでしょう。マントヴァーニの4つの哲学「コンパクト」「パワフル」「エレガント」「作業性」に基づいた製品は、イタリアの誇る創造性と実用性の結晶です。



マントヴァー二家(左より)ロベルタ、ヤコポ、フランカ、アンドレア、ロレンツォ、エレナ、パオロ (2024年に天国へ旅立たれたアンドレアとフランカに哀悼の意を表します)



# mantovanibenne.com









MBI日本パートナー アルファアタッチメント株式会社 〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-18-15 3F-3 TEL 03-4500-8214 FAX 03-4500-8241 代表取締役 坂戸正幸 Mobile 080-4317-5255 Mail masa@alpha-attachments.com http://alpha-attachments.com